

「月刊経理WOMAN」2023年2月号には こんな記事が掲載されています！

皆さん、こんにちは。編集長の天野恵実子です。今回のDMをご覧くださいありがとうございます。本誌「月刊経理WOMAN」の創刊は今から27年前の1996年4月のことです。以前私は別な出版社で経理・税務の雑誌を編集していたのですが、「経理や税金の記事は難しいなあ…」「もう少しビギナー経理でも理解できるようにやさしく解説できないのかなあ…」と常々疑問に思っていました。そこで**「税務や社会保険についてビギナーの経理・税務・総務担当の方でも理解できるよう、できるだけ分かりやすく解説することをコンセプトに創刊されたのが「月刊経理WOMAN」なのです。**創刊当時は、難しい専門的な知識を分かりやすく執筆いただける税理士・社会保険労務士・弁護士の先生方を必死に探したものです。そして創刊からあつという間に27年が過ぎましたが、おかげさまで現在、全国4万人の経理総務ご担当者にご愛読をいただいています。



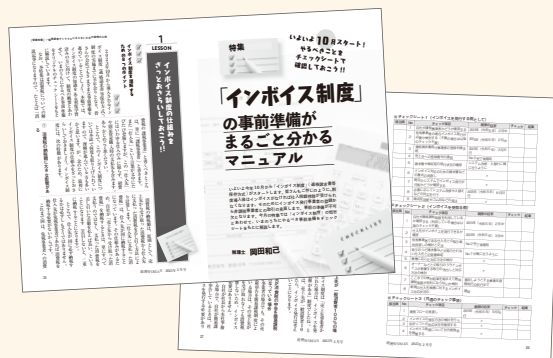
さて、その「月刊経理WOMAN」2023年2月号の特集企画では、「**「インボイス制度」の事前準備がまるごと分かるマニュアル**」を掲載しています。いよいよ今年10月から「インボイス制度」(適格請求書等保存方式)がスタートします。皆さんもご存じのように、**制度導入後はインボイスがなければ仕入税額控除が受けられなくなります。**そのためにインボイス発行业者の登録から免税事業者との取引の見直しまで、事前の準備が不可欠となります。**2023年2月号の特集では「インボイス制度」の概要とあわせて、いまのうちにやるべき事前準備をチェックシートをもとに解説しています。**「インボイス制度」実施まであと10ヵ月弱。本特集を参考に早め早めの準備を進めましょう!!

特集 いよいよ今年10月スタート! チェックシートで確認しておこう!!

「インボイス制度」の事前準備が まるごと分かるマニュアル

2023年10月から導入されるインボイス制度(適格請求書等保存方式)。制度の実施までに10ヵ月弱となり、皆さんの会社でもさまざまな事前準備を進めていることでしょう。しかし、インボイス制度の知識はある程度身についたものの、実際のところ何から手を付けていけば良いのか分からないという人も多いようです。また、すでに「適格請求書発行业者の登録申請」は済ませて通知書は届いたけれど、他にやるべきことは何があるのやら? という方もいるかもしれません。そこで**2月号の特集では、事前準備として実施したほうが良いことをチェックシートとしてご用意し、それぞれの項目について詳細解説しました。**チェックシートは「インボイスを発行する側」「インボイスを受け取る側」「その他」に分けて掲載しています。たとえば「インボイスを発行する側」の立場では、以下のような準備についてチェックシートにまとめて具体的な内容を別途解説しました。

- (1) 自社が課税事業者かどうか確認する
- (2) 免税事業者の場合はインボイス発行が必要か検討する
- (3) 適格請求書発行业者の登録申請手続き
- (4) 売上先への登録番号の通知
- (5) 請求書や領収証の発行状況の確認
- (6) インボイス対応のための請求書書式の見直し
- (7) 既存のシステムでインボイス発行が可能かどうか確認する
- (8) 必要に応じてシステム改修や入替えなどの対応を行なう
- (9) 領収証用紙やゴム印などの発注



同様に、「インボイスを受け取る側」の立場としてやっておくべき事前準備についてもチェックシートをもとに詳細解説しています。インボイス制度は、経理事務に関する久しぶりの大きな改正で、かつ新しい制度です。新しい制度ということは、参考にすべき先例がないということですから、皆さんも不安に思われることが多いのではないのでしょうか。本特集を参考にして事前準備を進め、少しでも不安を取り除いていきましょう!!